

ジャーポット

IMHD-130 / IMHD-122

取扱説明書



※ イラストはすべてIMHD-130です。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	6
各部の名称	7

取り扱いかた

使いかた	10
お手入れ	14
消耗品	16

こんなときには

故障かな?と思ったら	17
仕様	19
保証書	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号
です。



禁止を示す記号
です。



必ず行うことを示す記号
です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

けが・やけど・感電に注意 乳幼児のいる家庭では特に注意してください。



接触禁止

- 子どもや取り扱いに不慣れな方に使わせたり、幼児に触れさせたりしない
感電・けが・やけどの原因になります。



- ふたはカチッとなるまで、確実に閉める
お湯が吹きこぼれて、感電・やけど・けがの原因になります。
- お湯を捨てるときは、ふたを外す手をはさんだり、手にお湯がかかってやけどします。



感電注意

- 乳幼児にマグネットプラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。
- 本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しない
お湯がこぼれて、やけど・けがの原因になります。
- ふたは勢いよく閉めない
お湯が飛び散ってやけどの原因になります。
- ふたを持って持ち上げない
落下して、けがややけどの原因になります。



- 水以外のものを入れない
お茶の葉・牛乳・酒・備長炭・ティーバッグ・レトルト食品などを入れると、沸きあがるときにふき出して、やけどの原因になります。
- 満水目盛（▲ここまで）以上に水を入れない
お湯が吹きこぼれて、感電・やけど・けがの原因になります。
- 氷を入れて保冷用に使わない
結露が生じ、感電の原因になります。



- 直火（ガス台など）や電磁調理器（IHクッキングヒーターなど）、電気ヒーターなどの上に載せない
火災の原因になります。また、電磁調理器の上で使用すると、誤動作や故障の原因になります。
- 本体が転倒しそうな不安定な場所に置かない
ロックにしても、傾けたり倒したりすると、お湯が流れ出るおそれがあり、火災・やけど・けがの原因になります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで
確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動するときは、
必ず電源プラグをコンセントから
抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差し
をしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードを束ねて通電しない
過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

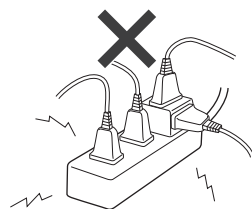
- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。



- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コード
を引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。

- コンセントや延長コードなどの定
格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

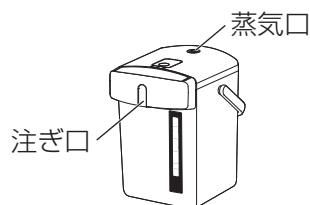
〔異常の例〕

- ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 触れるとビリビリ電気をを感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 注ぎ口や蒸気口に手を触れたり、
顔を近づけたりしない
やけどの原因になります。特に小さなお子様や乳幼児には触らせないように注意してください。

- 注ぎ口や蒸気口をふきんなどでふ
さがない
過熱・感電・やけどの原因になります。



安全上の注意 つづき

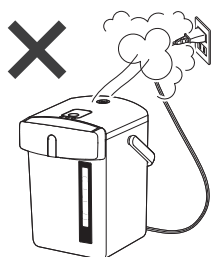


分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。

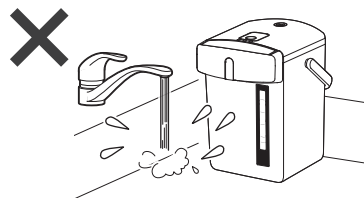


- 電源コード・電源プラグに蒸気を当てない
火災・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけない
火災・感電の原因になります。



- 流し台で蛇口から直接水を入れない
内部に水が入り、感電や火災の原因になります。

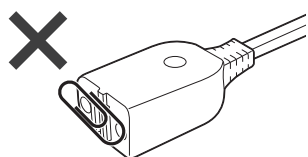


注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- マグネットプラグに金属をつけない
ショート・感電の原因になります。



- 付属の電源コード以外は使わない
- 付属の電源コードを他の機器に使用しない
火災の原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。



- 取扱説明書に記載した以外の使いかたをしない
火災・やけど・感電・けがの原因になります。



- 湯沸かし中は給湯しない
- 給湯中は本体を回さない
- 湯沸かし中はふたを開けない
- ふたを開けるときは、蒸気や、ふたの内側、内容器に触れない
お湯が飛び散り、やけどの原因になります。



- 壁や家具の近くで使わない
蒸気や熱で壁や家具を傷め、変形・変色の原因になります。
- 熱に弱いテーブルクロスや敷物などの上で使わない
設置場所が焦げたり、火災の原因になります。



- 業務など家庭用以外で使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務など家庭用以外に使用すると、火災などの原因になります。



- 本体をさかさにして置かない
故障の原因になります。



- 水を入れずに電源コードを接続しない
空だきになって、火災や誤動作の原因になります。



接触禁止

- 使用中や使用後しばらくは高温部に触れない
高温部に触れてやけどするおそれがあります。お手入れは十分に冷めてから行ってください。



- 使用中は、ハンドルを後ろに倒すやけどの原因になります。

- 持ち運ぶときは、ハンドルを持つ他の部分を持つと、落下ややけどの原因になります。



- 持ち運ぶときは、ハンドルを持って振り回さない
- 持ち運ぶときはふた開閉レバーに触れない
- 沸とう中、沸とう直後は持ち運ばない
事故ややけどの原因になります。

使用上の注意

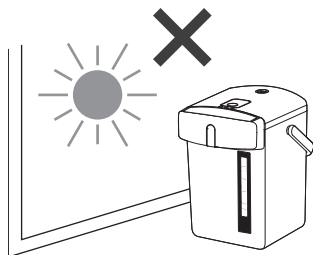
- 内容器のふっ素コーティングは、使用するにともない消耗し、はがれることがあります、人体には無害です。

- 内容器がさびが付いたように変色したり、お湯の中に白い浮遊物が見られることがあります。これらは、水に含まれるミネラル分が抽出したもので、コーティングのはがれではありません。

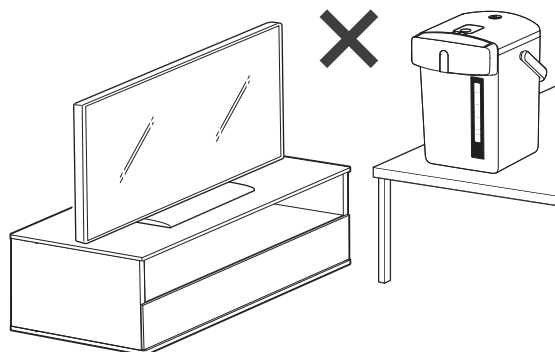
人体には無害ですが、汚れがこびりつかないように、こまめにお手入れしてください。
(→P14～16)

- 次のような場所では使用しないでください。
機器の変形・故障の原因になります。

- ・ 火気の近く
- ・ 直射日光が当たるところ
- ・ 振動するところ（冷蔵庫の上など）
- ・ 熱を発する機器の上



- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- 内容器の破損・コーティングのはがれを防ぐために、以下のことを守ってください。

- ・ 空だきしない
- ・ 酢やアルカリを入れない
- ・ お手入れに、スポンジ以外の硬いたわし、金属製の道具などを使用しない
- ・ 食器など硬いものを入れない
- ・ 食器洗浄機に入れない

- 凍結しそうなときは、水を捨てる
破損・故障の原因になります。

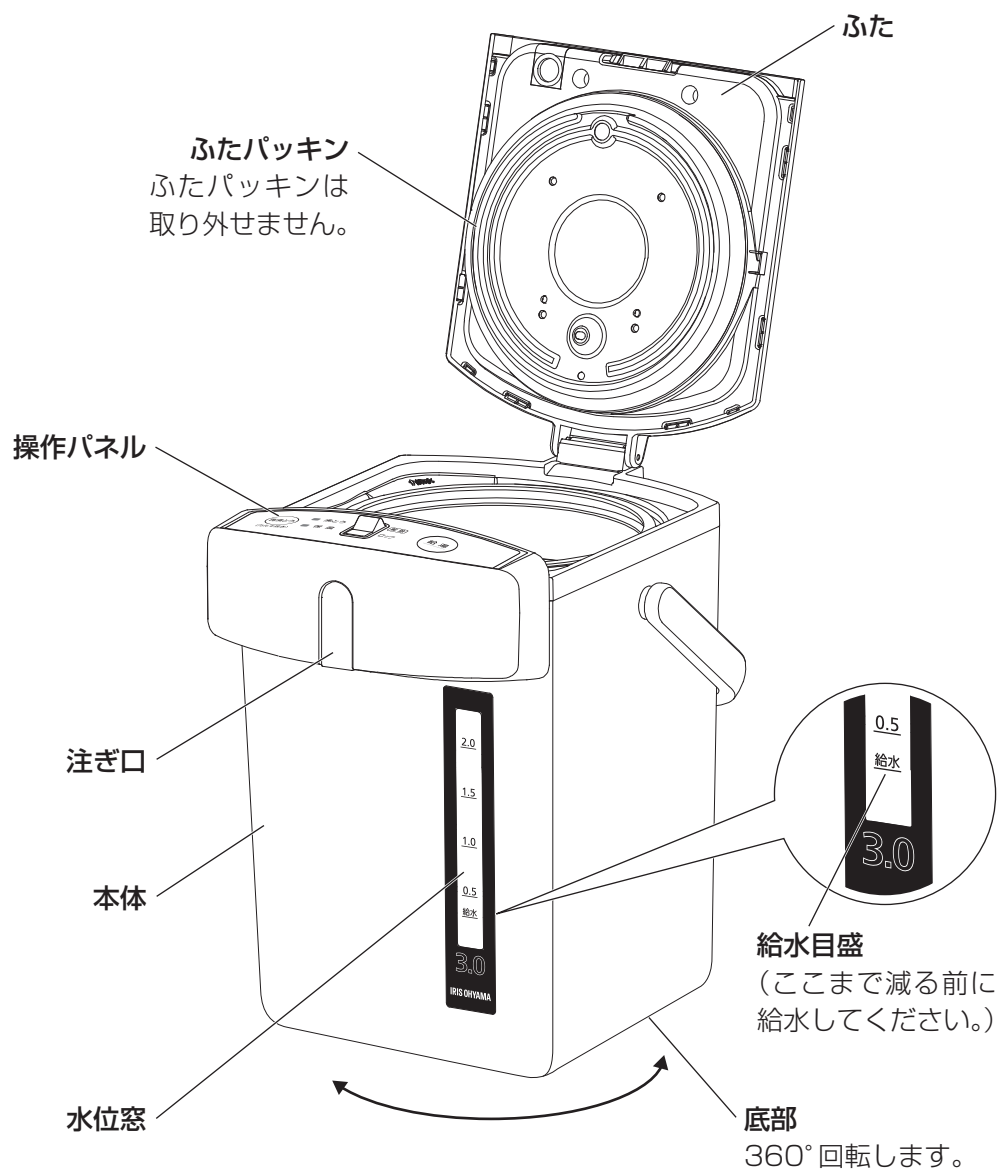
廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

空だき防止機能

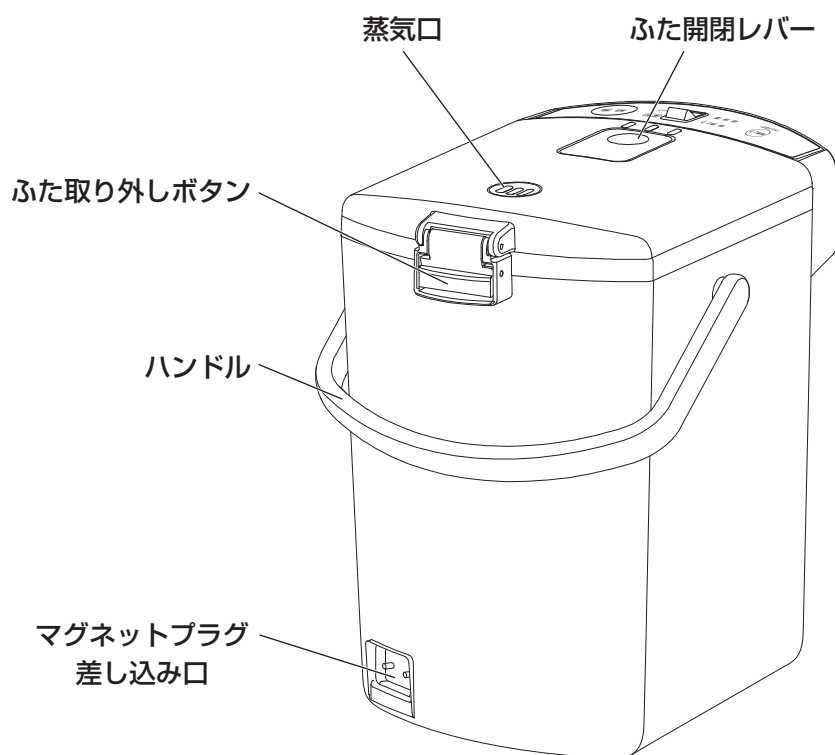
- 空だきを検知した場合、加熱を停止します。沸とうランプは消灯し、保温ランプが点灯します。

各部の名称

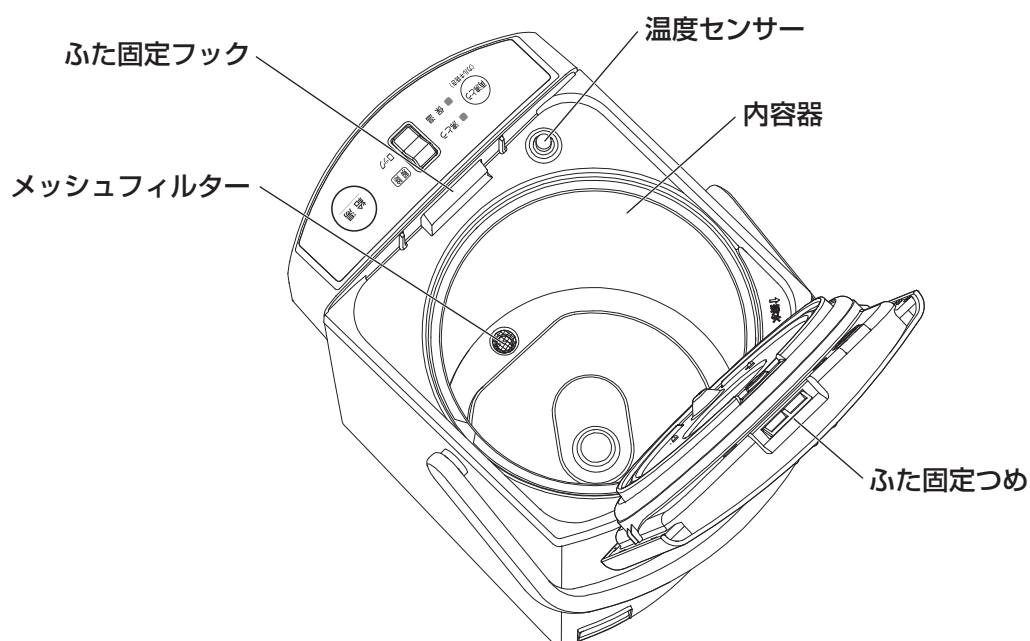


各部の名称 つづき

■ 背面



■ 内部



■ 操作パネル

再沸とう（カルキ抜き）ボタン

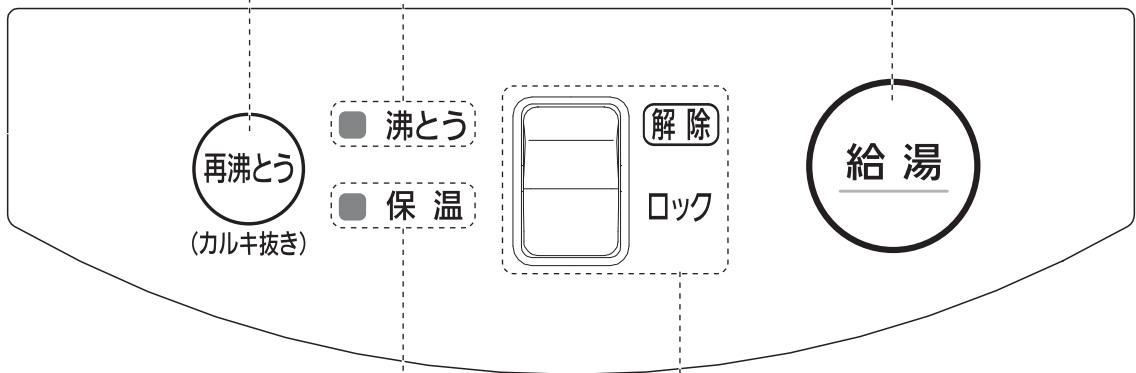
ボタンを押すと、沸とうランプが点灯し、沸とうするまで湯沸かしします。（→P12）

沸とうランプ

再沸とうボタンを押すと、湯沸かし中は点灯します。
給水して湯温が下がったときも、湯沸かしが始まり、沸とうするまで点灯します。

給湯ボタン

ロック解除して給湯ボタンを押すと、給湯できます。
お湯は、ボタンを押している間だけ出ます。（→P12）



保温ランプ

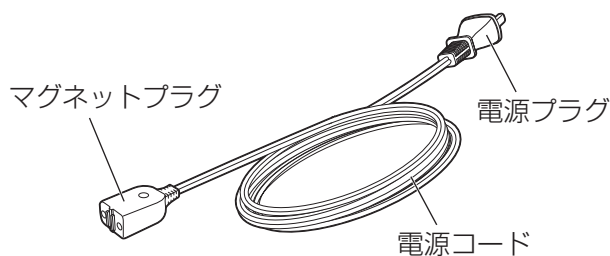
沸とうが終了して保温が始まると点灯します。

ロックスイッチ

スイッチを「解除」にすると、給湯することができます。（→P12）
スイッチを「ロック」にすると、給湯ボタンを押しても給湯しません。

■ 付属品

電源コードセット

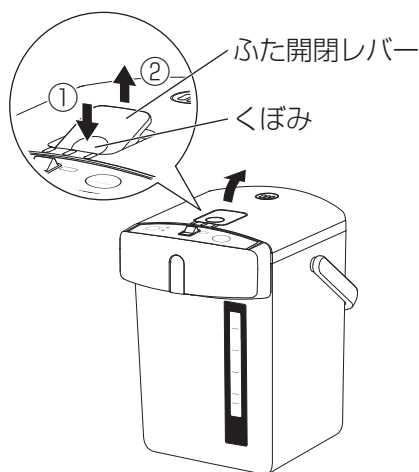


使いかた

■ お湯を沸かす

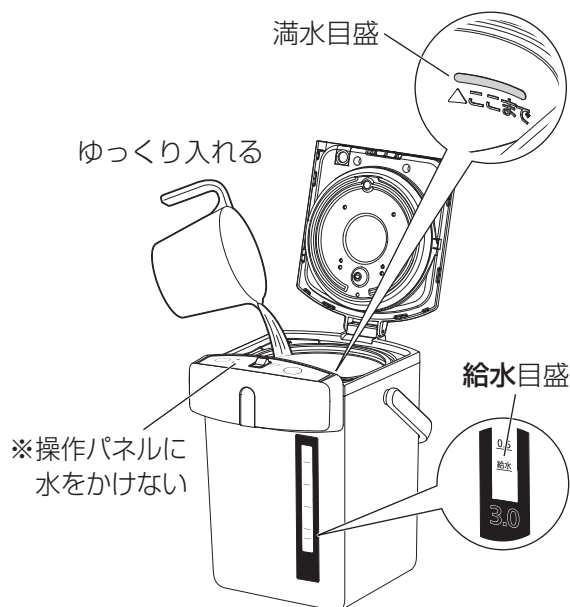
1 ふたを開ける

- ふた開閉レバーのくぼみを押して、レバーの後端が持ち上がったら、レバーを持ってふたを開けてください。



2 給水する

- 別の容器を使用して水を入れてください。
- 水の量は、給水目盛以上、満水目盛（△ここまで）以下にしてください。

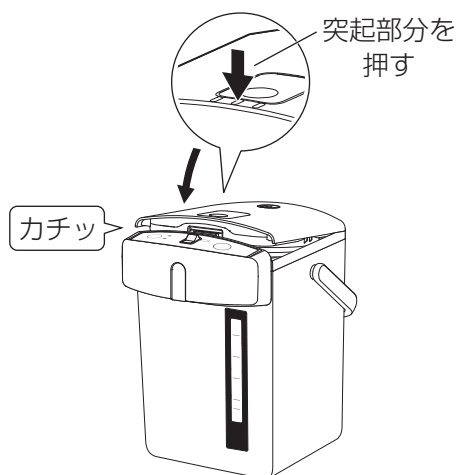


※メッシュフィルターに直接水がかかると、注ぎ口から水が飛び散るおそれがあるので注意してください。

3 ふたを閉める

- ふたは前方中央部を押して、カチッと音がするまで、ゆっくり、確実に閉めてください。

ふたが確実に閉まっていないと、沸とうが止まらなくなったり、万一倒れたときに熱湯があふれ出てやけどするおそれがあります。

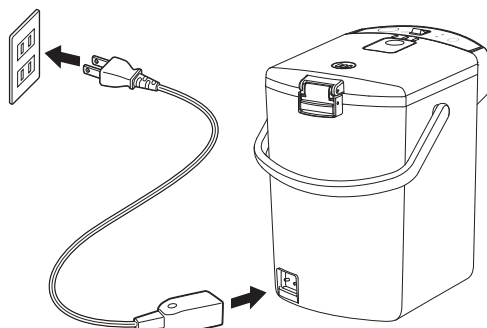


注意

- 電源コードを接続する前にロックスイッチがロックになっていることを確認してください。

4 電源コードを接続する

- マグネットプラグをマグネットプラグ差し込み口に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



- 湯沸かしが始まります。

点灯 ■ 沸とう

※ 60℃以上のお湯を入れると、沸とうが始まらないことがあります。その場合は、**再沸とう**ボタンを押してください。

沸とうすると

- 沸とうして湯沸かしが終了すると、**沸とう**ランプは消灯し、**保温**ランプが点灯します。

消灯 ■ 沸とう

点灯 ■ 保温

沸とうまでの時間の目安

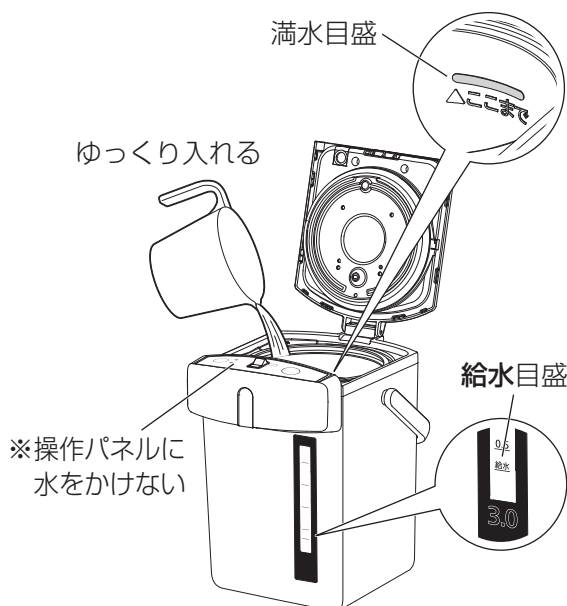
IMHD-130	IMHD-122
約28分	約25分

※ 水量：満水、水温・室温：23℃、電源電圧：100Vのとき

お湯が減ってきたら

- 給水目盛まで減る前に水を注ぎ足してください。

ふたを開け、別の容器を使用して水を入れる



- 沸とうランプが点灯し、湯沸かしが始まります。
- 沸とうして湯沸かしが終了すると、**沸とう**ランプが消灯し、**保温**ランプが点灯します。

※ 注ぎ足した水の量や、お湯の温度によっては湯沸かしが始まらない場合があります。湯沸かしを始めるには、**再沸とう**ボタンを押してください。

お湯の温度が下がってきたら

- 沸とうランプが点灯し、湯沸かしが始まります。保温温度に達すると、**沸とう**ランプは消灯します。

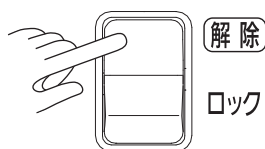


注意

- ふたを開けるときは、蒸気や、ふたの内側、内容器に触れないよう、注意してください。

■ お湯を注ぐ

1 ロックスイッチを解除にする



2 容器を注ぎ口に合わせ、給湯ボタンを押して給湯する

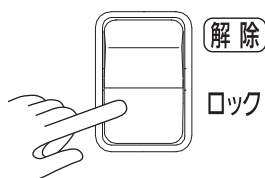


・給湯ボタンを押している間だけお湯が出ます。

※給湯ボタンから指を離しても、給湯が止まるまで、容器を動かさないでください。

※注ぎ口から残り湯がたれることがあります。そのときは、注ぎ口の下にふきんなどを敷いてください。

3 給湯が終わったらロックスイッチをロックにする



■ 再沸とう（カルキ抜き）

・再沸とう（カルキ抜き）ボタンを押すと、再度湯沸かしになり、1～2分沸とうしてカルキ抜きをした後、保温に戻ります。また、次のような場合にも、再沸とうボタンを押してください。

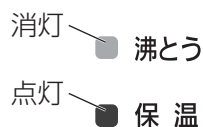
- ▶給湯する前に再度お湯を沸とうさせたい場合
- ▶温度が下がったお湯を再度熱くしたい場合
- ▶水を注ぎ足しても湯沸かしがスタートしない場合



・沸とうランプが点灯し、保温ランプは消灯します。



・沸とうして湯沸かしが終了すると、沸とうランプは消灯し、保温ランプが点灯します。



※沸とうが終了してしばらくは、再沸とう（カルキ抜き）ボタンを押しても湯沸かしに切り替わりません。再度沸とうさせたいときは、約20分待ってから再沸とうボタンを押してください。

■ お湯を捨てるときは

清潔さを保ち、いつもおいしいお湯を沸かせるように、使用しないときはこまめに残り湯を捨ててください。

- 必ず電源コードを外してください。
- 必ずふたを取り外してください。
- 必ず排水の矢印方向に捨ててください。

けが・やけど・感電、内部へ水が浸入する原因になります。

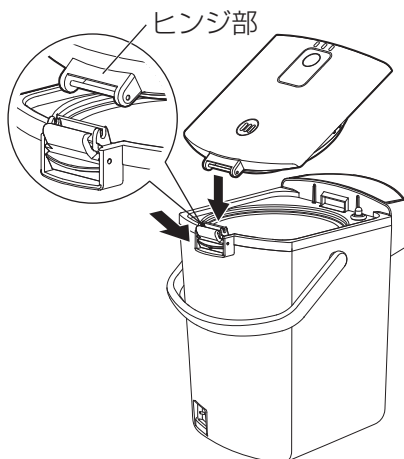


注意



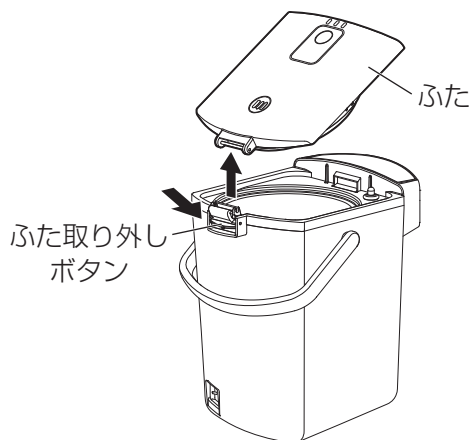
ふたの取り付けかた

- ふた取り外しボタンを押しながら、ふたのヒンジ部分を上から差し込みます。ふた取り外しボタンを離すと、ふたが取り付けます。



ふたの取り外しかた

- ふた取り外しボタンを下に押しながら、ふたを上へ引いて取り外します。



お手入れ



注意

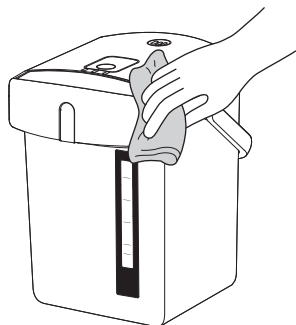
- お手入れは、必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行ってください。
- 水で丸洗いはしないでください。

- 酸性・アルカリ性の強い洗剤・薬品、漂白剤、金属たわし、ナイロンたわし、研磨材入りのスポンジなどは使用しないでください。
- 食器洗い乾燥機に入れないでください。

■ 本体外側・ふた

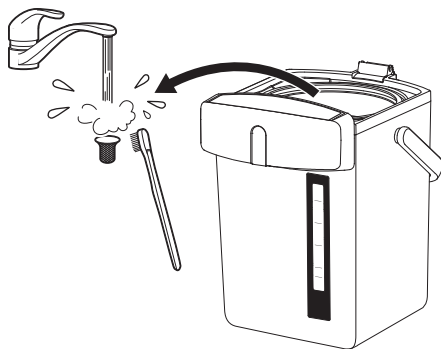
水でぬらしてよく絞った柔らかい布で拭く

※ 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤分が残らないように、かたく絞った布などで水拭きしてください。



■ メッシュフィルター

内容器から外し、ブラシなどで洗う



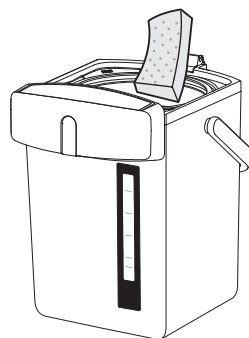
※ こまめに洗ってください。目づまりすると、お湯が出にくくなります。

※ 洗った後は、必ず元どおり取り付けてください。

■ 内容器

柔らかいスポンジなどで洗う

- ・ 水に含まれるミネラル分が付着すると、内容器が変色します。柔らかいスポンジなどでこまめに洗ってください。



- ・ 洗った後は、水でよくすすいでください。
- ・ 水を捨てるときは、ふたを外し、排水の矢印方向に捨ててください。

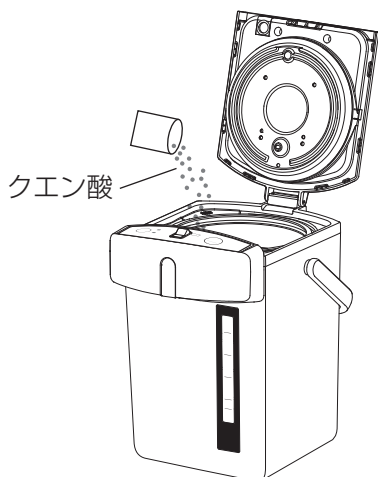


※ 汚れが落ちにくいときは、クエン酸洗浄を行ってください。

■ クエン酸洗浄

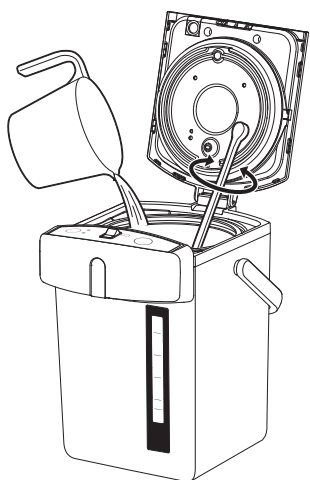
内容器の汚れがスポンジなどでは落とせなくなったときは、クエン酸洗浄を行ってください。

1 ふたを開け、市販のクエン酸30g (大さじ2～3杯) を入れる



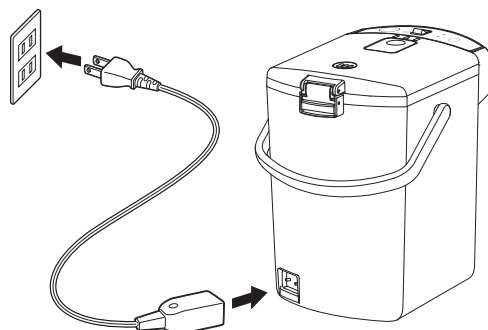
※メッシュフィルターが取り付けられていることを確認してください。

2 水を満水目盛(▲ここまで)まで入れ、クエン酸がよく溶けるようにかき混ぜる



3 ふたを閉め、電源コードを接続する

- マグネットプラグをマグネットプラグ差し込み口に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



注意

- 電源コードを接続する前にロックスイッチがロックになっていることを確認してください。

- 湯沸かしが始まります。

点灯  沸とう

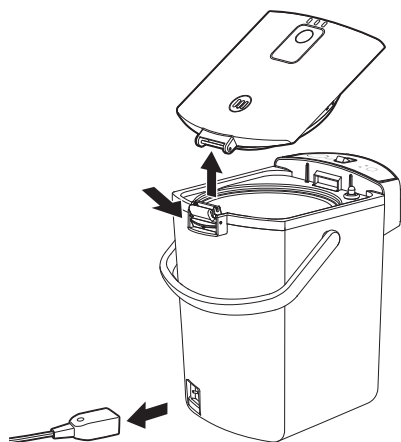
4 沸とう後、保温になったら2～3時間放置する

点灯  保温
2～3時間放置

お手入れ つづき

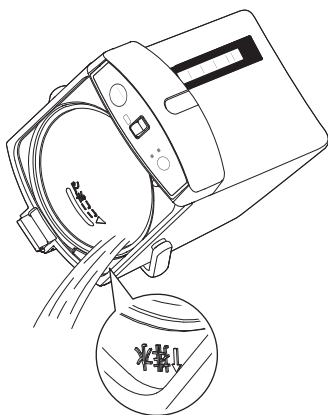
5 電源コードを抜き、ふたを取り外す

- ・ ふた取り外しボタンを下に押しながら、ふたを上へ引いて取り外します。



6 お湯を捨てる

- ・ 排水の矢印方向に捨ててください。



7 再度ふたを取り付け、満水目盛(▲ここまで)まで水を入れる

8 電源コードを接続して、お湯が沸とうするまで沸かす

9 電源コードを抜き、お湯を捨てる

- お湯での洗浄は、クエン酸のにおいを取るために行います。
1回でにおいが取り切れないときは、湯沸かしを繰り返してください。
- 注ぎ口の経路を洗浄する場合には、お湯を捨てるときに、次のようにしてください。
 - ① 電源コードを接続して、給湯ボタンで半分程度お湯を出して捨てる
 - ② 再度電源コードを抜き、ふたを取り外して、残りのお湯を排水の矢印方向に捨てる

■ 収納のしかた

1 お湯を捨て、お手入れをして、内部をよく乾かす

2 梱包箱に入れるか、ポリ袋などをかぶせて、湿気の少ない場所で保管する



消耗品

消耗品については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

- ・ 損傷したり、汚れが取れなくなったときは、新しい部品へ交換してください。

■ 消耗品

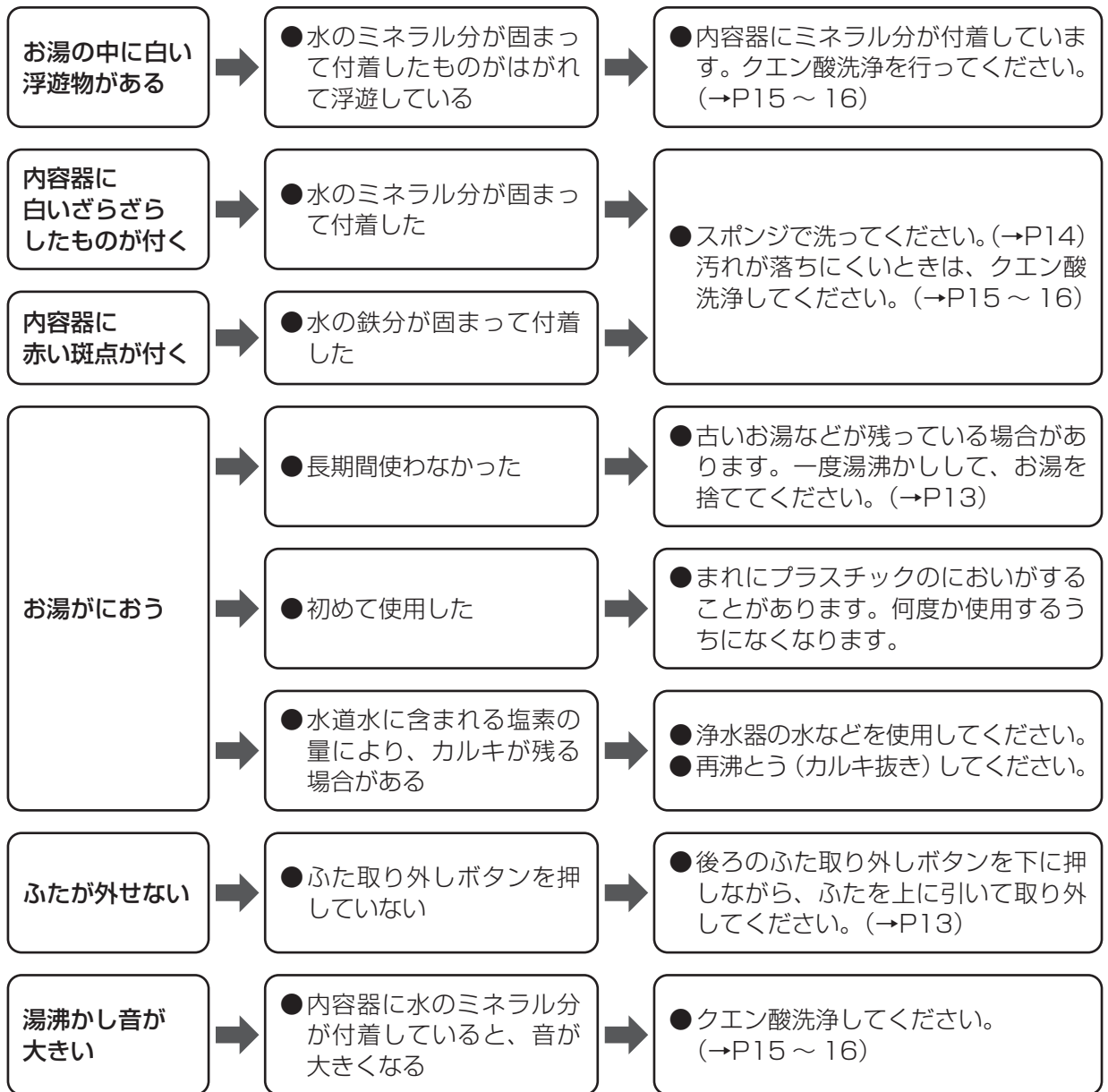
ふた
メッシュフィルター
電源コード

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない (ランプが点灯しない)	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●マグネットプラグが外れている	●本体背面の差し込み口にマグネットプラグを接続してください。
注ぎ口からお湯があふれる	●満水目盛(▲ここまで)以上に水を入れた	●水を満水目盛(▲ここまで)以下に減らしてください。(→P10)
注ぎ口からお湯が出ない	●沸とう直後はお湯が出にくいことがある	●故障ではありません。沸とうが止まって落ち着くと、通常通りお湯が出ます。
	●注ぎ口の経路やメッシュフィルターが水あかなどでつまっている	●クエン酸洗浄を行い、お湯を捨てる時に、半量を給湯ボタンを使用して注ぎ口から、残りの半量を、ふたを開けて排水の矢印方向に捨ててください。(→P15～16)
	●ロックスイッチがロックになっている	●ロックスイッチを解除にしてください。(→P12)
お湯がぬるい	●しばらく給湯していなかった	●注ぎ口の経路に残ったお湯が冷めてしまうことがあります。しばらくしてから給湯するときは、1杯目は捨てるなどしてください。
湯沸かししない	●お湯が少ないため、空だきを検知した	●電源コードを抜き、給水して適切な水量にしてから、再度電源コードを接続してください。(水は給水目盛以上入れてください。)(→P10)
給水しても湯沸かししない (沸とうランプが点灯しない)	●給水しても保温温度の範囲より湯温が下がらなかった場合は、自動で再沸とうしない	●再沸とうボタンを押して湯沸かししてください。(→P11)

故障かな？と思ったら つづき



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● ご自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

品番		IMHD-130	IMHD-122
電源		AC100V、50 / 60Hz	
定格消費電力		700W	
消費電力量※1	1日当たり	1.37kWh / 日	1.25kWh / 日
	年間	500kWh / 年	454kWh / 年
定格容量		3.0L	2.2L
寸法（ハンドルを倒した状態）		幅218×奥行280×高さ296mm	幅218×奥行280×高さ256mm
質量（電源コード含む）		約2.4kg	約2.3kg
電源コード（付属品）長さ		約1.4m	
電動ポンプ消費電力／定格時間		0.75W / 2分	

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※1 室温23℃、湯沸かし2回／1日、再沸とう1回／1日、保温23時間／1日、365日／年、その他水量などの試験条件：（一社）日本電機工業会自主基準HD-112による測定

※ 特定地域（高地・厳寒地など）では所定の性能が確保できない場合があります。

※ 電動ポンプの定格時間を超えて連続運転すると、モーターなどの故障の原因になるので、定格時間を超えて連続使用しないでください。

長年ご使用のジャーポットの点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 本体や電源コードが異常に熱くなった
り、こげくさいにおいがする
- 沸とうした状態が15分以上つづき、保
温に切り替わらない
- 電源コードを動かすと、通電したりし
なかったりする
- 電源コードやマグネットプラグ差し込
み口が破損している

ご使用中止

故障や事故防止のため、コ
ンセントから電源プラグを
抜き、必ず販売店に点検を
依頼してください。

ジャーボット IMHD-130 / IMHD-122

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間	お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品を除く	
お客様	お名前		※販売店	住所・店名
	ご住所 〒 電話 () -			

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
- 本書の提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関するお問い合わせ **アイリスコール 0120-311-564** (通話料無料) / 修理に関するお問い合わせ **修理専用コール 0800-170-7070** (通話料無料)
【お電話での受付時間】 平日 9:00～17:00、土日祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

010321-OGR-MIN-01